ONKYO

リビングサウンドシステム

SBT-100

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

TINSJA205AWZZ

D1304-1

2940152 9A

箱の中身を確かめる

ご使用の前に製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。

- **リモコン（1）**
- **ACアダプタ（1）**
- **電源コード（1）**
- **オーディオ光デジタルケーブル（S/PDIF用）（1）**
- **スピーカースタンド(2)**
- **スピーカースタンド用両面テープ(1)**

ご購入時、リチウム電池（CR2025）はリモコンに装着されています。

カタログおよび包装箱などに表示されている、型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

本機は、薄型テレビ（LED、液晶、プラズマ）に使用されることをおすすめします。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

⚠警告	誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△ 記号は「ご注意ください」という内容を表しています。（高温注意／感電注意）

⃠ 記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。（分解禁止／ぬれ手禁止）

● 記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。（ACアダプタをコンセントから抜く／必ずする）

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐにACアダプタを抜く

ACアダプタをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプタをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■ 通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

本機には内部の温度上昇を防ぐため、本機の後部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。
- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（本機の天面、横から10cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■ 水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

⚠警告

ACアダプタに関するご注意

■ ACアダプタを傷つけない

禁止

- ACアダプタの上に重い物をのせたり、ACアダプタが本機の下敷きにならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

ACアダプタが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ ACアダプタのプラグは定期的に掃除する

必ずする

ACアダプタのプラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。ACアダプタのプラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

■ ACアダプタに布や布団をかぶせない

禁止

熱がこもり、火災の原因となります。

使用上のご注意

■ 本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔、ダクトから異物を入れない
- 本機の上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■ 長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

- アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、ACアダプタのプラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■ 心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない

禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。

■ 病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では本機を使用しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

■ 他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

■ 長時間大きな音で使用しない

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。

電池に関するご注意

■ 電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 電池を使い切ったときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■ 電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

■ ボタン電池は、小さなお子様の手の届かないところへ置く

必ずする

小さなお子様が誤って飲み込むと大変危険です。お子様の手の届かない所へ保管してください。万一飲み込んだ可能性がある場合、大至急医師に相談してください。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

注意

本機を壁に取り付けるときは、壁の材質、また、桟などの位置に注意してください。（ネジの保持強度に大きな差が出ますので、販売店にご相談ください。）

■ 本機の上に物を置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。

■ 配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

ACアダプタに関するご注意

■ 表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■ ACアダプタのコードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■ ACアダプタのプラグを抜くときは、ACアダプタのコードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■ 長期間使用しないときはACアダプタのプラグをコンセントから抜く

ACアダプタをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■ ACアダプタのプラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ ぬれた手でACアダプタのプラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

■ お手入れの際はACアダプタのプラグを抜く

ACアダプタをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のためACアダプタのプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

使用上のご注意

■ 通風孔の温度上昇に注意

高温注意

本機の通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■ 音量を上げすぎない

禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■ キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

⚠注意

移動時のご注意

■ 移動時はACアダプタのプラグや接続コードをはずす

ACアダプタをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因になります。

■ 本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。落下や転倒してけがの原因となります。スピーカーのツイーターユニット部を持って移動させないでください。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

電波に関するご注意

本機を使用する周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の機内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。

- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに使用を停止してください。混信回避のための処置等については、コールセンター（本書に記載）へご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コールセンター（本書に記載）へお問い合せください。

2.4 FH 1

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH: FH-SS変調方式を表します。
1: 与干渉距離は10mです。

すべてのBluetooth機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
本機とBluetooth対応機器との互換性については、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。一部の国では、Bluetooth対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth 対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

取り扱い上のご注意

■ お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
ピアノ仕上げ部分のお手入れは、市販されているピアノクリーナー（鏡面ツヤ出し用）をご使用ください。塗面に付いた手アカや汚れをすっきり取り、美しい光沢に仕上がります。お手入れ後はホコリや手アカが付きにくくなり、付着しても乾拭きで楽に取れます。

ご注意

本機内部の部品を油のついた布などで拭かないでください。誤動作の原因となります。

■ スピーカーユニットについて

本機のスピーカーユニットには、非常に強力な磁石を使用しております。スピーカー前面にドライバー等の金属を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

■ 結露（つゆつき）について

本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた状態でそのままご使用になると、故障の原因となります。この場合、結露がなくなるまで（約1時間）電源を入れずにお待ちください。本機を操作する前に、リモコンの送光部の結露を柔らかい布でふき取ってください。

■ 取り扱い上のご注意

本製品は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

■ 機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

困ったときは

以下のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

お買い上げ時の設定状態に戻す（リセット）
まず、本機に接続したすべてのケーブルを取り外してください。
次に、本機の電源コードを抜きます。⏻ボタンとPAIRINGボタンを押し続けたまま、ACアダプタのプラグを差し込みます。それから、⏻ボタンを押します。

ご注意

この操作を行うことにより、メモリに保存されていたデータはすべて消去されます。

全般

こんなときは	原因と対策	参照ページ
音が出ない	• 接続している機器が正しく選択されていますか。（入力切換をまちがえていませんか。）	P.26
	• 音量が「Min（0）」になっていませんか。	P.18、P.25
	• 一時的に音声を消す設定（消音）になっていませんか。	
	• 接続している機器が、本機の入力端子に正しく接続されていますか。	P.22
	• 本機がBluetooth対応機器から離れすぎていませんか。	P.28
	• 本機とBluetooth対応機器とのペアリングは正しく行われていますか。	P.28
再生中にノイズが聞こえる	• パソコンや携帯電話などは本機のそばで使用しないでください。 • 音声ケーブルが本機の入力端子に正しく接続されていますか。 • 経年劣化によるノイズが出ることがあります。接続されたテレビやDVD/Blu-rayディスクプレーヤーの年式を確認してください。	P.7 P.22
強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたとき 誤った操作をしたとき	• このような場合、本機に異常が発生することがあります。 → 一度、本機をスタンバイ状態にしてから再び電源を入れてください。それでも、元に戻らない場合は、電源を切ってACアダプタのプラグを家庭用電源コンセントから抜いてください。再び差し込み、電源を入れ直してください。	P.10
音が歪む	• テレビまたは本機の音量を下げてください。	−
ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった	• 一度、本機をスタンバイ状態にして、再び電源を入れてください。	P.10
	• それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。	上記
電源が入らない	• ACアダプタのプラグが家庭用電源コンセントからはずれていませんか。	P.24
	• 本機の保護回路が働いていることがあります。ACアダプタのプラグを家庭用電源コンセントから抜き、5分以上たってから再び差し込んでください。	P.10
Bluetooth接続を経由した音が途切れたり歪んだりする	• 電磁波を発生している機器が近くにありませんか。 • 本機とBluetooth対応機器との間に障害物がありませんか。	P.28

リモコン

こんなときは	原因と対策	参照ページ
リモコンが正しく動作しない	• 電池の＋、－の向きが逆になっていませんか。 • 電池が消耗していませんか。 • リモコンの送光部を本機のリモコン受光部に正しく向けていますか。 • 本機の前に障害物がありませんか。 • リモコン受光部に強い光（インバーター蛍光灯や直射日光など）があたっていませんか。	P.19
	• 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。	−
リモコンで電源が入らない	• 本機のACアダプタのプラグは、家庭用電源コンセントに正しく接続されていますか。	P.24
	• 電池は入っていますか。	P.19

エラーメッセージについて

操作を誤ったときなどに、表示部に次のような表示がでます。

エラー表示	エラーの内容
☼ 電源インジケーター（緑色の点滅）	保護回路が働いています。

ACアダプタのプラグの差し込み直しや、スタンバイ状態にしてから電源の入れ直しをしても同じ表示が出るときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ライセンスと商標について

dts Digital Surround

米国特許：5,956,674; 5,974,380; 6,487,535およびその他の国における特許（出願中含む）に基づき製造されています。
DTSとそのシンボルはDTS社の登録商標です。また、DTS Digital SurroundおよびDTSロゴはDTS社の商標です。製品にはソフトウエアを含みます。
© DTS, Inc. All Rights Reserved.

DOLBY DIGITAL

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolbyおよびダブル D記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

AAC ロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。

Bluetooth®

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc.が所有する登録商標であり、オンキヨー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

■ 販売店の「長期保証」制度にご加入の場合は
保証の手続き上、お買い上げになった販売店様での受付けが必要となりますので、この場合は販売店様店頭への修理品お持込みをお願いいたします。

■ 「引取便サービス」による修理受付け
引取便サービスは弊社指定の配送業者が修理品を引取りに伺うサービスです。引取日時をご指定いただけます。

＜お電話でのお申込み＞

オンキヨーオーディオコールセンター　050-3161-9555
（受付時間：10:00～18:00　土・日・祝日および弊社で定める休業日を除きます）

＜メールでのお申込み＞

http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は
下記のURLにて全国の修理拠点のご案内がございます。お持込みの際には営業日を確認のうえでご訪問いただくようお願いします。

http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

■ 商品についてのご相談、リモコン等付属パーツ、その他ご不明な点は
下記のオンキヨーオーディオコールセンターへご相談ください

オンキヨーオーディオコールセンター　050-3161-9555
（受付時間：10:00～18:00　土・日・祝日および弊社で定める休業日を除きます）

修理について

■ 保証書
この製品には保証書を添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。
ホームページにサポート情報（http://www.jp.onkyo.com/support/audiovisual/index.htm）がございますので、そちらもあわせてご確認ください。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品等もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、ACアダプタのプラグを抜いて修理を依頼してください。修理を依頼されるときは、次の事項をオンキヨーオーディオコールセンター、または「ご相談窓口・修理窓口のご案内」記載の他の修理窓口までお知らせください。

- ▶ 製品の型番
- ▶ 接続している他機器
- ▶ できるだけ詳しい故障状況
- ▶ ご購入店名
- ▶ ご購入年月日

■ 保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは、保証書をご用意のうえ、オンキヨー修理窓口またはお買い上げの販売店へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。販売店の「長期保証」制度にご加入の場合は、販売店様店頭への修理品お持込みをお願いいたします。

■ 保証期間経過後の修理は
オンキヨー修理窓口またはお買い上げ店へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後、最大8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでオンキヨー修理窓口等へご相談ください。

2013年2月現在　電話番号、受付時間などは変更になることがございます。

ONKYO

製品保証書

持ち込み専用保証書

本書は、本書記載内容で修理に代え、無償にて製品の交換をお約束するものです。お買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、販売店またはオンキヨーサービスセンターまでお問い合わせください。

品番 SBT-100		製品番号（SERIAL） 本体後面に記載	
お客様	お名前	お買い上げ日	年　月　日
		保証期間（お買い上げ日より）	1 年
	ご住所 〒		
	電話番号　（　）	取扱販売店名・住所・電話番号	

ご購入時の納品書、領収書等の添付がある場合、お買い上げ日、取扱販売店名等の記載に変えることができます。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはオンキヨーコールセンターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーコールセンターにご依頼ください。ご返送は弊社負担ですが、送られるときは送料をご負担ください。
3. ご転居、ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、オンキヨーコールセンターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   1）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   2）お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   3）お客様のご要望による出張修理を行う場合の出張料金
   4）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）、水掛かり等による故障および損傷
   5）一般家庭用以外（例えば、業務用の使用、車両・船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   6）保証書の提示がない場合
   7）保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   8）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
7. 故障・その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

※裏面の保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはオンキヨーコールセンターへお問い合わせください。

※個人情報の取り扱いについて
お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

修理メモ

メモ

ONKYO

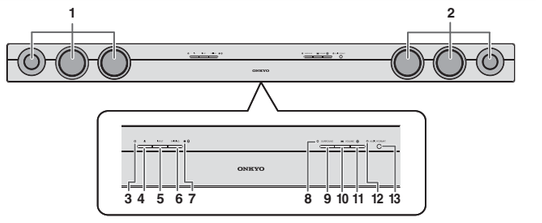
オンキヨー株式会社
〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎050-3161-9555（受付時間　10：00～18：00）
（土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

SN 29401529A
(C) Copyright 2013 Onkyo Corporation Japan. All rights reserved.

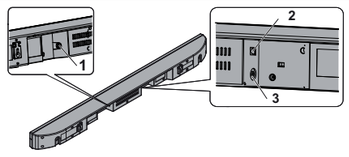
各部のはたらき

前面



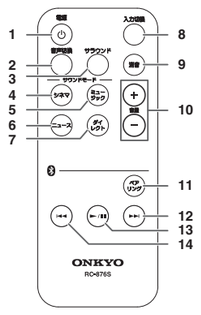
1. 左チャンネルスピーカー
2. 右チャンネルスピーカー
3. ⏻ インジケーター
   電源がオンになると点灯します。
   INPUTインジケーター
   入力ごとに色が切り換わります。
   デジタル：水色
   Bluetooth：青色
   AUDIO IN：緑色
4. ⏻ ボタン
   電源のオン／スタンバイを切り換えます。
5. **INPUTボタン**
   入力（デジタル、Bluetooth、AUDIO IN）を切り換えます。
6. **PAIRINGボタン**
   Bluetooth対応機器とのBluetooth接続を確立します。
7. **Bluetoothインジケーター**
   Bluetooth接続中に点灯または点滅します。
8. **SURROUNDインジケーター**
   サラウンド機能がオン／オフ時に、点灯／消灯します。
9. **SURROUNDボタン**
   サラウンド機能に切り換えます。サラウンド効果が楽しめます。
10. **VOLUME －ボタン**
    音量を下げます。
11. **VOLUME ＋ボタン**
    音量を上げます。
12. **AUDIO FORMATインジケーター**
    入力がデジタル入力時に、デジタル信号（Dolby Digital、DTS、AAC）に応じて色が切り換わります。
13. **リモコン受光部**

後面



1. **DC INジャック**
   付属のACアダプタを接続します。
2. **OPTICAL IN（DIGITAL）ジャック**
   付属のオーディオ光デジタルケーブルを接続して、音声を入力する端子です。
3. **AUDIO IN（ANALOG）ジャック**
   別売りのアナログ音声ケーブルを接続して、音声を入力する端子です。

リモコン

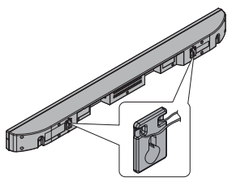


1. **電源ボタン**
   電源のオン／スタンバイを切り換えます。
2. **音声切換ボタン**
   音声を切り換えます。テレビから光デジタル入力時に音声多重（2か国語対応している番組）の信号が入力しているときのみ有効です。
3. **サラウンドボタン**
   サラウンド機能に切り換えます。サラウンド効果が楽しめます。
4. **シネマ（サウンドモード）ボタン**
   映画に適した音響効果です。
5. **ミュージック（サウンドモード）ボタン**
   標準的な音響効果です。
6. **ニュース（サウンドモード）ボタン**
   ニュース番組に適しています。
7. **ダイレクト（サウンドモード）ボタン**
   音響処理は行われません。
8. **入力切換ボタン**
   入力（デジタル、Bluetooth、AUDIO IN）を切り換えます。
9. **消音ボタン**
   消音機能をオンにします。もう一度押すと音声が出力されます。
10. **音量＋/－ボタン**
    音量を調整します。
11. **Bluetoothペアリングボタン**
    Bluetooth対応機器とのBluetooth接続を確立します。
12. **Bluetooth ⏭（次）ボタン**
    接続されている機器の次の曲を再生します。長押しで早送りします。
13. **Bluetooth ⏯（再生/一時停止）ボタン**
    接続されている機器の再生または一時停止します。
14. **Bluetooth ⏮（前）ボタン**
    接続されている機器の現在の曲の先頭を再生します。長押しで早戻しします。

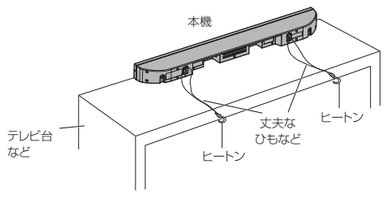
ご注意
- 本機がぐらついていないことを必ず確認してください。
- 本機を置いた後は、落下防止のため、テレビのスタンドなどに市販のひもでしっかり固定してください。
- テレビ台を移動させるときは、本機をテレビ台からおろしてください。

落下防止について

市販のヒートンや丈夫なひもなどを利用して、本機の落下を防止してください。



■ テレビ台などに取り付けられている場合



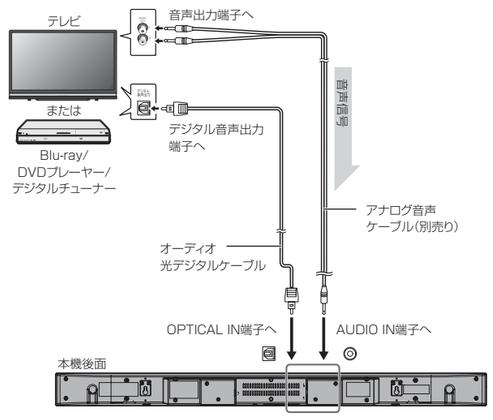
本機とテレビを接続する

接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。

ご注意
- テレビと接続するには、本機の後面にあるOPTICAL IN（DIGITAL）端子またはAUDIO IN（ANALOG）端子を使用してください。
- ご使用の機器の取扱説明書をよくご覧のうえ、接続してください。
- 雑音が生じることのないよう、プラグはしっかりと差し込んでください。
- テレビやDVD/Blu-rayディスクプレーヤーのRCA音声出力端子と接続している場合、本機から少量のノイズが出ることがあります。ノイズが出る原因は、接続されたテレビやDVD/Blu-rayディスクプレーヤーのメーカーや機種、年式によるもので、本機の品質との関連はありません。
- テレビの音量が長時間低いレベルになっていると、本機の電源は自動的に切れます。

テレビやDVDプレーヤーなどに接続する

テレビやモニターに音声出力端子がある場合は、本機の後面にあるOPTICAL IN（DIGITAL）端子またはAUDIO IN（ANALOG）端子と接続してください。



基本操作

電源を入れる

本機の ⏻ ボタンを押す
または
リモコンの電源ボタンを押す
- 本機の ⏻ インジケーターが入力に応じて点灯します。

ご注意
電源が入らない場合は、電源コードが正しく差し込まれているか確認してください。

■ **本機をスタンバイ状態にする**
本機の ⏻ ボタンをもう一度押す
- 本機の ⏻ インジケーターが消灯します。

音量自動フェードイン

音量が大きい状態のまま電源オンからスタンバイにして、再び電源をオンにするようなときに、大きな音で再生されないよう、音量は低いレベルから始まり、最後に設定したレベルまで徐々に上昇していきます。
比較的低い音量レベルで設定されているときは、音量自動フェードインは機能しません。

音量調整

音量を上げたり／下げたりするには、
本機のVOLUME+/VOLUME－ボタンを押す
または
リモコンの音量+/音量－ボタンを押す

ご注意
- リモコンの**音量+/音量－**ボタンを押すごとに、SURROUNDインジケーターが1回だけ点滅します。
- 音量が最大または最小のときは、SURROUNDインジケーターが点滅します。

一時的に音声を消す

リモコンの消音ボタンを押す
- 音量を一時的に消すことができます。また、消音ボタンをもう一度押すと音量は元に戻ります。
- 一時的に音声が消えている間は、SURROUNDインジケータが点滅します。

サラウンド機能

本機のSURROUNDボタンを押す
または
リモコンのサラウンドボタンを押す
- サラウンド機能がオンになります。（SURROUNDインジケーターはオレンジ色に点灯します。）

サウンドモード

リモコンにあるお好みのサウンドモードボタンを押す
- SURROUNDインジケーターが1回だけ点滅します。

シネマ	映画に適した音響効果が得られます。
ミュージック	標準的な音響効果が得られます。
ニュース	ニュース番組に適しています。
ダイレクト	音響処理は行われません。

入力切換機能

本機のINPUTボタン押す
または
リモコンの入力切換ボタンを押す
- 入力が切り換わります。

入力	INPUTインジケーター	PAIRINGインジケーター
デジタル	水色で点灯	消灯
Bluetooth	青色で点灯	青色で点滅または点灯
AUDIO IN	緑色で点灯	消灯

ご注意
選択した機能は本機に記憶され、万一の停電や電源コードが誤って抜かれた場合に備えて、バックアップ機能により数時間保持されます。

自動スタンバイと自動電源オン機能

自動スタンバイ
- 音声信号が20分間検出されない場合、本機は自動的にスタンバイ状態に移行します（⏻ インジケーターは消灯します）。

自動電源オン
- ⏻ インジケーターが消灯しているとき、Bluetoothと接続されている機器から音声信号が検出されると、本機の電源は自動的に入ります。

ご注意
- 本機がぐらついていないことを必ず確認してください。
- 本機を置いた後は、落下防止のため、テレビのスタンドなどに市販のひもでしっかり固定してください。
- テレビ台を移動させるときは、本機をテレビ台からおろしてください。

再生する

以下をチェックしてください。
- ソース機器のBluetooth機能がオンになっている。
- 本機とソース機器のペアリングが完了している。

1 **INPUTボタンを押して、Bluetoothを選択する**
2 **Bluetooth対応機器側からBluetooth通信を開始する**
3 **Bluetooth対応機器の再生を開始する**
- ソース機器に低音補正機能やイコライザー機能が搭載されている場合は、オフにしてください。オンになっていると、音が歪む場合があります。

ご注意
- 以下の場合は、Bluetooth接続を再度行ってください。
  - 本機の電源が入っていない。
  - ソース機器の電源が入っていない、またはBluetooth機能がオフなっているかスリープ状態になっている。
- Bluetoothと接続状態にあるとき、スタンバイ状態になっても接続が維持されていることがあります。

停止する

以下のいずれかの操作を行ってください。
- ソース機器側でBluetooth接続を終了する。（詳細は、ソース機器の取扱説明書をご覧ください。）
- Bluetooth対応機器の電源を切る。
- 本機の電源を切る。

ご注意
- 接続している機器によっては、本機のリモコンで操作できないことがあります。
- 接続している機器によっては、本機の音量がご希望通りに調節できない場合があります。

Bluetooth操作ボタン（リモコンのみ）	
⏯	再生または一時停止します。
⏭	1曲ずつ先に進みます。長押しで早送りします。
⏮	1曲ずつ前に戻ります。長押しで早戻しします。

主な仕様

アンプ（音声）部

定格出力	2ch × 11W (6Ω) (全高調波歪率1%以下, 2ｃｈ駆動時 (同時駆動)) (JEITA)
実用最大出力	2ch × 20W (6Ω, 1kHz) 2ｃｈ駆動時 (同時駆動) (JEITA)
統合ひずみ率	0.09%（1kHz 1W出力時）
ダンピングファクター	26（6Ω）
入力感度/インピーダンス	AUDIO IN： 1000mV/47kΩ
周波数特性	80Hz～15kHz/ +3dB -3dB (AUDIO IN、サラウンド機能: ダイレクト)
SN比	103dB (AUDIO IN IHF-A)

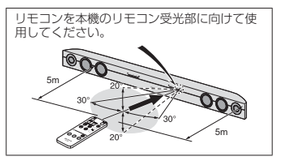
Bluetooth部

通信システム	Bluetoothバージョン　2.1 +EDR (Enhanced Data Rate)
最大通信範囲	10m*1
周波数帯域	2.4GHz～2.48GHz
変調方式	FHSS（周波数ホッピングスペクトラム拡散）
対応プロファイル	A2DP　1.2（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP　1.0（Audio Video Remote Control Profile）
対応コーデック	SBC

*1 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

■ **リモコンの使いかた**
リモコンをお使いになる前に、電池ホルダーの絶縁シートを取り除いてください。

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて使用してください。



■ **リモコンの電池を交換する**
本機は、CR系コイン型リチウム電池を使用しています。

1 **つまみをリモコンの中心に向けて押し、電池ホルダーを引き出す**

2 **古い電池をホルダーから取り出し、新しい電池を入れて、電池ホルダーをリモコンに戻す**

電池の使用に関するご注意
本機を長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り外しておいてください。これにより、電池の液もれによる火災・けが、周囲への汚損を防ぐことができます。
- 充電池（ニッカド電池など）を使用しないでください。
- プラスとマイナスの向きを間違えて取り付けると、電池が破裂する危険があります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 電池（電池パックや内部電池を含む）は、直射日光にあてたり火の中に入れたりして、加熱しないようにしてください。
- 電池が正しく取り付けられていないと、本機が誤作動を起こす場合があります。

ご注意
- リモコンの反応が悪くなったら、新しい電池と交換してください。電池は、CR2025型をお求めください。
- リモコンの送光部と本機の受光部は、定期的に、柔らかい布で汚れをふき取ってください。
- 本機の受光部に強い光をあてると、操作が干渉を受ける場合があります。その場合は、照明または本機の方向を変えてください。
- リモコンは、湿気や熱、衝撃、振動を避けてお使いください。

■ **デジタル入力で接続**
付属のオーディオ光デジタルケーブルで接続して、本機の**INPUT**ボタンまたはリモコンの**入力切換**ボタンで入力をデジタル入力に切り換えます。
入力と音声形式は以下のとおりです。

入力	音声形式 (Audio Format)	Audio Format インジケーター
デジタル	入力なし	点滅
	PCM	OFF
	Dolby Digital	青色に点灯
	DTS（Dolby Theater System）	水色に点灯
	AAC	緑色に点灯
Bluetooth		OFF
AUDIO IN		OFF

ご注意
テレビまたはDVD/Blu-rayディスクプレーヤー側のデジタル音声出力設定がPCMになっていると、Dolby DigitalやDTSの音場効果を得ることができません。

Bluetooth対応機器から再生する

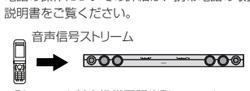
■ **Bluetoothテクノロジーについて**
Bluetoothワイヤレステクノロジーとは、携帯電話やパソコンなどの各種デジタル機器間の無線通信を可能にする近距離無線技術で、約10m以内であれば、ケーブルを接続する手間を必要とせずに機器を接続することができます。
Bluetoothテクノロジーでは、通信する機器間での見通しの確保が不要なため、赤外線テクノロジーの場合のように送信側と受信側の機器を直線上に配置する必要はありません。

通信システムと本機のBluetoothプロファイル
Bluetoothプロファイルとは、各種機器間の通信を可能にするための基本的な通信方法や固有の機能、および使用方法を記述したもので、利用可能なプロファイルには数多くの種類があります。

通信システム	Bluetooth仕様バージョン 2.1 Bluetooth+Enhanced Data Rate（EDR）
プロファイル	• A2DP 1.2（Advanced Audio Distribution Profile） • AVRCP 1.0（Audio Video Remote Control Profile）

- A2DPでは、A2DPに対応したBluetooth対応機器（例: 携帯電話）から本機への音声ストリーミングが可能です。無線ステレオ音声信号をアナログ信号に変換することにより、本機のスピーカーを通じて再生することができます。
- AVRCP（Audio/Video Remote Controlプロファイル）は、ユーザーがアクセス可能なすべてのBluetooth対応オーディオビジュアル機器を一括して操作できるテクノロジーです。

携帯電話と接続して使用する場合
- 本機は、携帯電話とBluetooth接続されている場合でも、通話にお使いいただくことはできません。
- Bluetoothで接続して音声を送信する際の携帯電話の操作についての詳細は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



Bluetooth対応携帯電話やBluetooth対応機器など

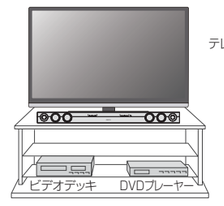
■ **ペアリングについて**
Bluetooth対応機器は、データ通信を開始する前にまずペアリングを行う必要があります。ペアリングは一度行うと、以下の場合を除いて、再度行う必要はありません。
- ペアリングされている機器が8台を上回ったとき。
  （ペアリングが行えるのは、一度に1台の機器についてのみです。本機がペアリングを行える機器は、最大8台です。さらに新たな機器とペアリングを行うと、再生された時期が一番古い機器が削除され、新しい機器に置き換えられます。）
- 本機がリセットされたとき。
  （本機がリセットされると、ペアリング情報はすべて削除されます。）
- 再ペアリング中にペアリング情報が削除されたとき。

■ **PAIRINGインジケーターについて（青色）**

状態	
未接続	点滅
ペアリング中	高速点滅
接続中	点灯

本機の設置

本機をテレビ台に設置する

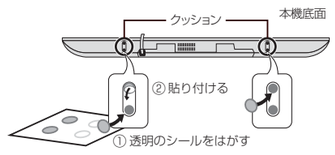


ご注意
- 本機の電源を入れる前に、保護フィルムをはがしてください。
- 本機の前面パネルは、取り外すことはできません。
- 電源を入れた状態で、本機の取り付け方向を変えないでください。
- 本機の上に立ったり座ったりしないでください。けがの原因になります。

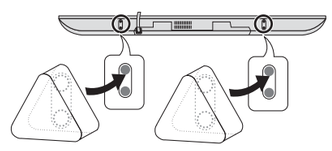
スタンドを使用する

本機がテレビのスタンドに当たってテレビ台の上に設置できない場合は、付属のスタンドを使用してください。テレビのスタンドをまたいで本機を設置できます。

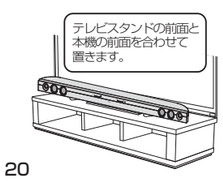
1 **付属の両面テープを左右2か所ずつ貼り付ける**



2 **本機のクッションの位置を確認し、スタンドが中央になるように貼り付ける**
- スタンドは本機の後面に合わせて貼り付けてください。



3 **本機をテレビ台に置く**



電源コードを接続する

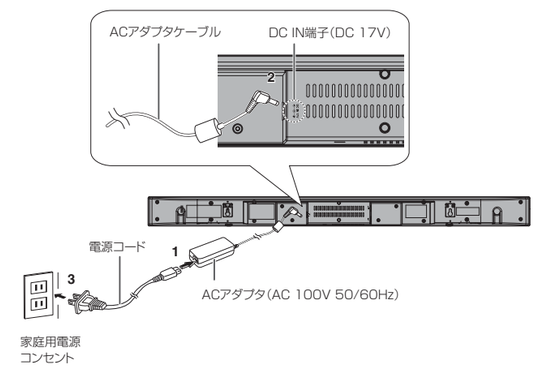
各機器が正しく接続されていることが確認できたら、電源コードを本機に接続して、ACアダプタのプラグを家庭用電源コンセントに差し込んでください。

ACアダプタを使用する

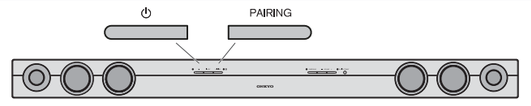
1 **電源コードをACアダプタに接続する**
2 **ACアダプタのプラグを、本機のDC IN端子に接続する**
3 **電源コードを家庭用電源コンセントに差し込む**

ご注意
- ACアダプタは、必ず本機に付属のACアダプタをお使いください。他のACアダプタをご使用になるとSBT-100の故障、感電や火災の原因となります。
  また、本機に付属のACアダプタおよび電源コードはSBT-100専用です。他の機器に接続して使うことはおやめください。
- 本機は、ACアダプタのプラグの抜き差しができるよう、容易に手が届く家庭用電源コンセントの近くに設置してください。
- 電源スタンバイ中は、⏻ インジケーターが消灯します。⏻ ボタンを押すと、入力に応じて⏻ インジケーター（デジタル: 水色／Bluetooth: 青色／AUDIO IN: 緑色）が点灯します。
- 本機を長期間使用しないときは、家庭用電源コンセントから電源コードを抜いてください。

■ **接続するときは、電源コードを抜いた状態で行ってください。**



他のBluetooth対応機器とのペアリング



1 ⏻ **ボタンを押して、電源を入れる**
2 **INPUTボタンを押して、Bluetoothを選択する**
- PAIRINGインジケーターが青色で点滅します。

3 **PAIRINGボタンを3秒以上押し続ける**
- 5秒以上押し続けるとインジケーターの点滅が早くなり、ペアリング状態になります。
  これで、他のBluetoothソース機器とのペアリングの準備ができたことを示します。

4 **ソース機器側でペアリング操作を行って、本機を検出する**
- Bluetooth接続を行う手順については、ソース機器の取扱説明書をご覧ください。
- ソース機器の検出されたデバイス一覧（表示される場合）には、"Onkyo SBT-100"という文字列が表示されます。
- ペアリングを行うときは、機器どうしの間隔を1メートル以内にしてください。
- 検出された機器の一覧を表示できないソース機器もあります。本機とのペアリングについての詳細は、ソース機器の取扱説明書をご覧ください。

5 **一覧から"Onkyo SBT-100"を選択して、パスワード*を要求された場合は、"0000"を入力する**
- 本機とソース機器が正常にペアリングされると、本機のPAIRINGインジケーター（青色）の点滅は止まります。このとき、本機にペアリング情報が記憶されます。
- *「パスワード」は、PINコード、パスキー、PIN番号、パスコードなどと呼ばれることもあります。

6 **ソース機器側でBluetooth接続を開始する**
- オーディオソース機器によっては、本機との接続が自動的に開始されます。開始されない場合は、ソース機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- Bluetooth 接続が完了する前に本機またはソース機器の電源が切られた場合は、ペアリングは完了せず、ペアリング情報も記憶されません。手順1に戻って、もう一度ペアリングを行ってください。
- 他の機器とペアリングを行うには、それぞれの機器について手順1～5を繰り返してください。
- ペアリング一覧から除外または削除された機器については、ペアリング情報も削除されます。除外された機器から再生するには、再ペアリングが必要です。手順1～5を実行し、機器とのペアリングを再度行ってください。
- 本機のパスワードは "0000" に固定されており、パスワードが同じ "0000" のBluetoothソース機器とのみペアリングが可能です。

再生する

以下をチェックしてください。
- ソース機器のBluetooth機能がオンになっている。
- 本機とソース機器のペアリングが完了している。

1 **INPUTボタンを押して、Bluetoothを選択する**
2 **Bluetooth対応機器側からBluetooth通信を開始する**
3 **Bluetooth対応機器の再生を開始する**
- ソース機器に低音補正機能やイコライザー機能が搭載されている場合は、オフにしてください。オンになっていると、音が歪む場合があります。

ご注意
- 以下の場合は、Bluetooth接続を再度行ってください。
  - 本機の電源が入っていない。
  - ソース機器の電源が入っていない、またはBluetooth機能がオフなっているかスリープ状態になっている。
- Bluetoothと接続状態にあるとき、スタンバイ状態になっても接続が維持されていることがあります。

停止する

以下のいずれかの操作を行ってください。
- ソース機器側でBluetooth接続を終了する。（詳細は、ソース機器の取扱説明書をご覧ください。）
- Bluetooth対応機器の電源を切る。
- 本機の電源を切る。

ご注意
- 接続している機器によっては、本機のリモコンで操作できないことがあります。
- 接続している機器によっては、本機の音量がご希望通りに調節できない場合があります。

Bluetooth操作ボタン（リモコンのみ）	
⏯	再生または一時停止します。
⏭	1曲ずつ先に進みます。長押しで早送りします。
⏮	1曲ずつ前に戻ります。長押しで早戻しします。

主な仕様

アンプ（音声）部

定格出力	2ch × 11W (6Ω) (全高調波歪率1%以下, 2ｃｈ駆動時 (同時駆動)) (JEITA)
実用最大出力	2ch × 20W (6Ω, 1kHz) 2ｃｈ駆動時 (同時駆動) (JEITA)
統合ひずみ率	0.09%（1kHz 1W出力時）
ダンピングファクター	26（6Ω）
入力感度/インピーダンス	AUDIO IN： 1000mV/47kΩ
周波数特性	80Hz～15kHz/ +3dB -3dB (AUDIO IN、サラウンド機能: ダイレクト)
SN比	103dB (AUDIO IN IHF-A)

Bluetooth部

通信システム	Bluetoothバージョン　2.1 +EDR (Enhanced Data Rate)
最大通信範囲	10m*1
周波数帯域	2.4GHz～2.48GHz
変調方式	FHSS（周波数ホッピングスペクトラム拡散）
対応プロファイル	A2DP　1.2（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP　1.0（Audio Video Remote Control Profile）
対応コーデック	SBC

*1 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

総合

電源・電圧	AC 100V, 50/60Hz （本体の電源入力: DC入力17V　2.8A）
消費電力	11W
無音時消費電力	3W
待機電力	0.25W
最大外形寸法	940mm（幅）× 73mm（高さ）× 83mm（奥行き）
質量	2.4kg
使用スピーカー	2ウェイスピーカーシステム 5.7cm（ウーハー） × 4個 2.5cm （ソフトドームツィータ） × 2個

■ **音声入力**

デジタル	OPTICAL IN (DIGITAL): 1
アナログ	AUDIO IN (ANALOG): 1　ステレオミニジャック　Φ3.5㎜

■ **その他**

デジタル入力	Dolby Digital/DTS (Digital Theater System)/AAC/PCM
サウンドモード	シネマ、ミュージック、ニュース、ダイレクト
サラウンド機能	オン／オフ機能有り

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。